

*INTER COOLER* **Chemical Shine**  
**CS**

*INTER COOLER* **Standard Edition**  
**SE**

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

# 取 付 説 明 書

**Z27AG**  
**COLT RALLIART Ver.R**

**BLITZ**

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

## お願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

## 装着車輛可能車輛と製品の仕様

- 車 名：MITSUBISHI COLT RALLIART Ver.R
- 型 式：Z27AG
- エンジン：4G15
- 年 式：2007年10月～
- 製品名称：BLITZ INTER COOLER Chemical Shine /Standard Edition
- 製品番号：13130/23130

## 製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住 所：東京都西東京市新町4-7-6
- FAX：0422-60-0066

## はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は、作業を始める前に販売店までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。


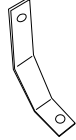


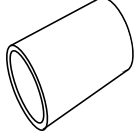








## 重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、フローオフバルブ、オイルクーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車輛の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 本製品を装着するにはバンパー等の加工作業が必要です。また、加工の際には必ず保護メガネ・軍手等の保護具を使用して安全に作業をおこなってください。
- 本製品の装着には、専門知識と加工技術、及び特殊工具が必要です。
- 本製品を装着すると、車輛によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輛法を守って走行して下さい。

## 取り付け作業の方へ注意

- 品質には万全を期しております、KIT内アルミパイピングの中にバフ等の研磨剤が付着している事が稀にあります。パイプ取り付けの際には、事前に点検・洗浄を行って下さい。

■パーツリスト■

インタークーラー-ASSY	ブラケット I/C TOP	ブラケット I/C RH	ブラケット I/C LH
 1	 1	 1	 1
ホースφ50	ホースバンド(HS-36)	フランジM8×12	M8ナット
 5	 10	 5	 2
パイプNo.1	パイプNo.2	パイプNo.3	パイプNo.4
 1	 1	 1	 1
パイプNo.5			
 1			

## □組み付け作業□

### ■作業の方へお願い！

- 作業が終了しましたら、本取付説明書は、必ずお客様に返却して下さい。

### ■作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検して下さい。

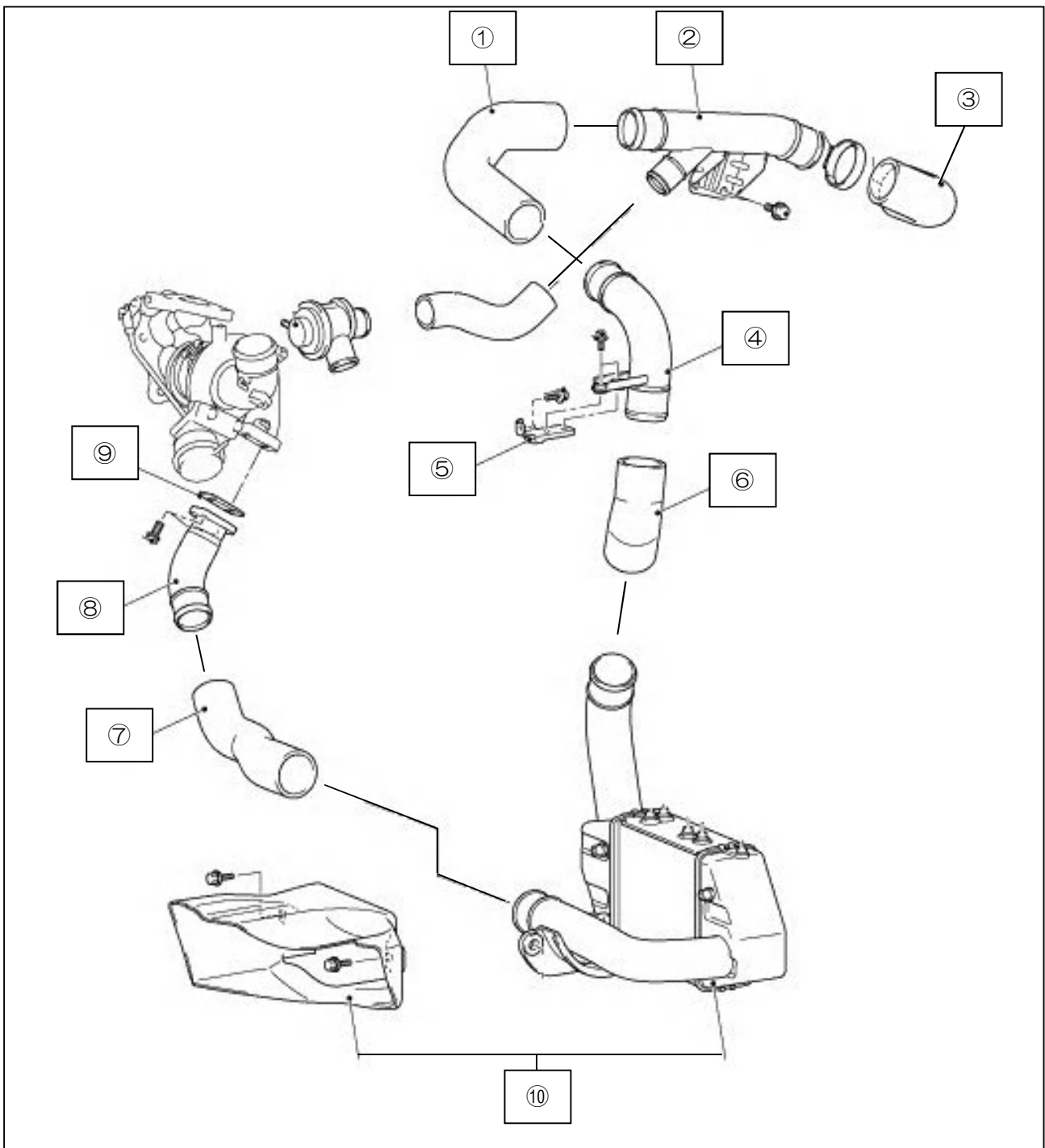
- 純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
- 再使用する純正のガスケット類も、十分に点検して、不具合のある場合は純正品の新品に交換して下さい。

### 警告 作業中の怪我・火傷

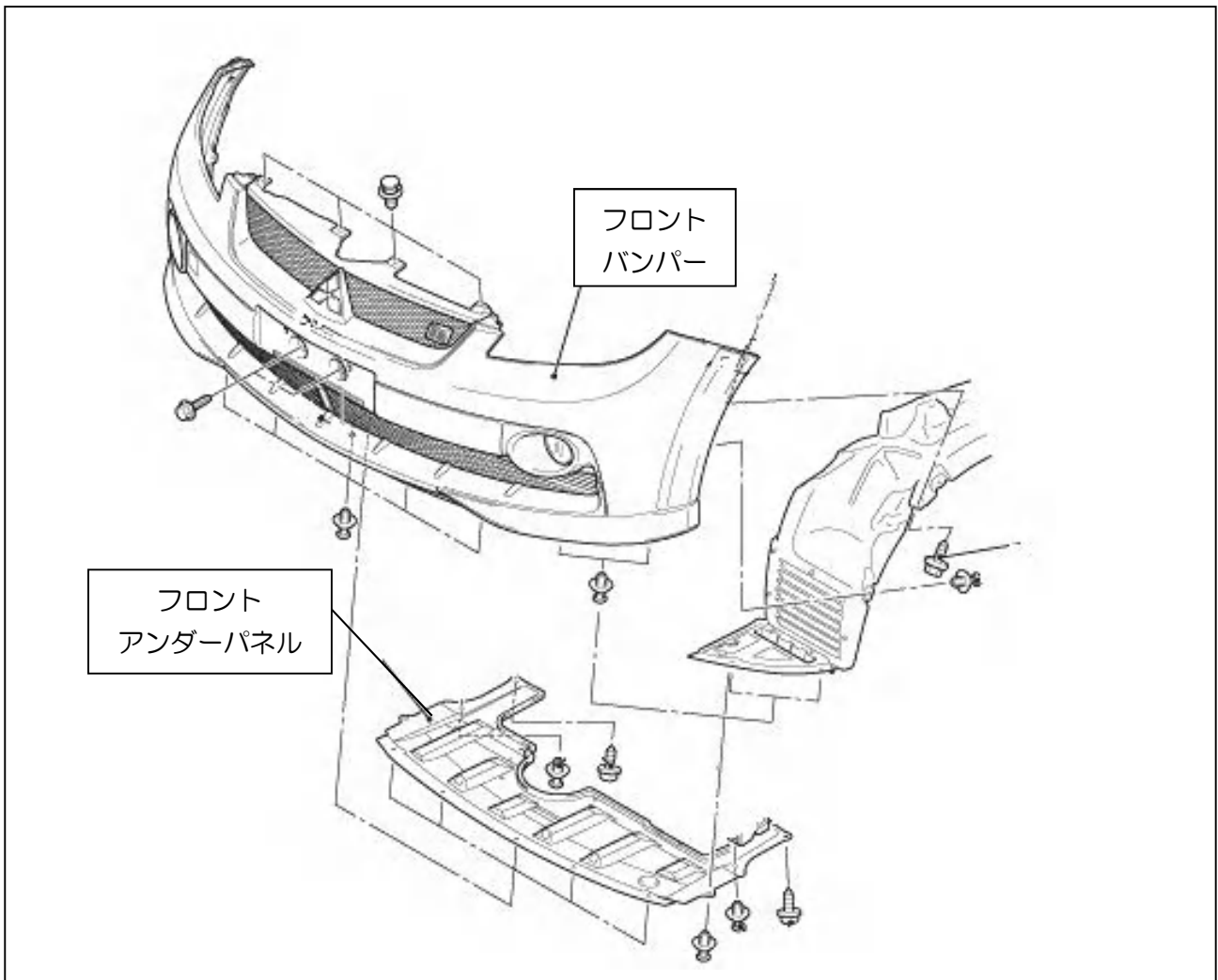
- 装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。

★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

### ■ノーマルパーツの取り外し■

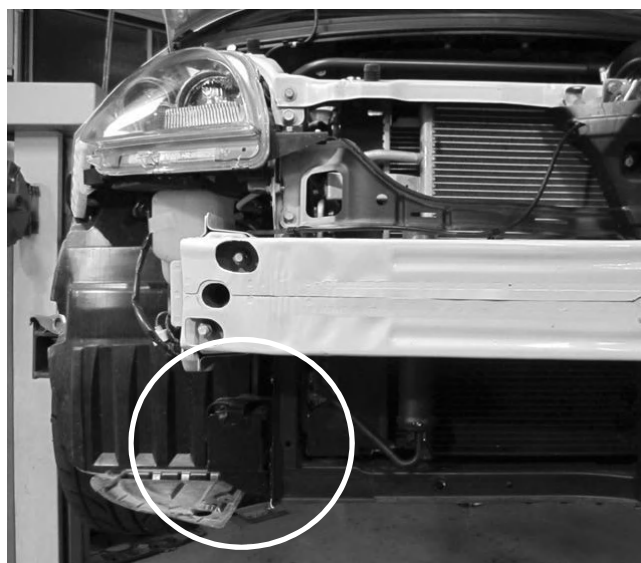


1. 下図を参考にフロントバンパー、フロントアンダーパネルを取り外します。

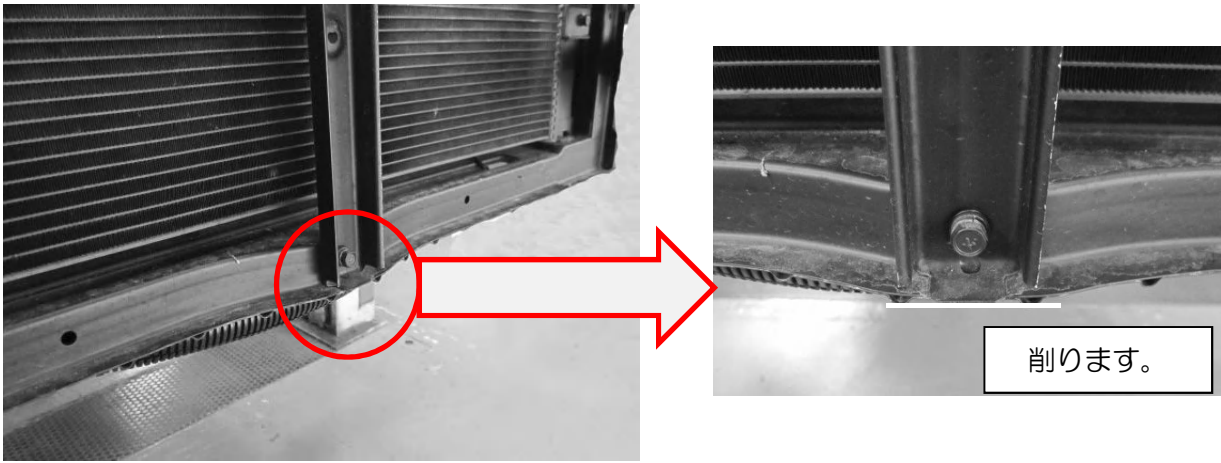


2. 前ページイラストを参考に、純正のインテークパイプ、インタークーラーコアを取り外します。  
※図中のパーツに振られている番号を順に取り外していくと、作業が容易です。  
※③の部品は再利用します。外さずにそのままにします。

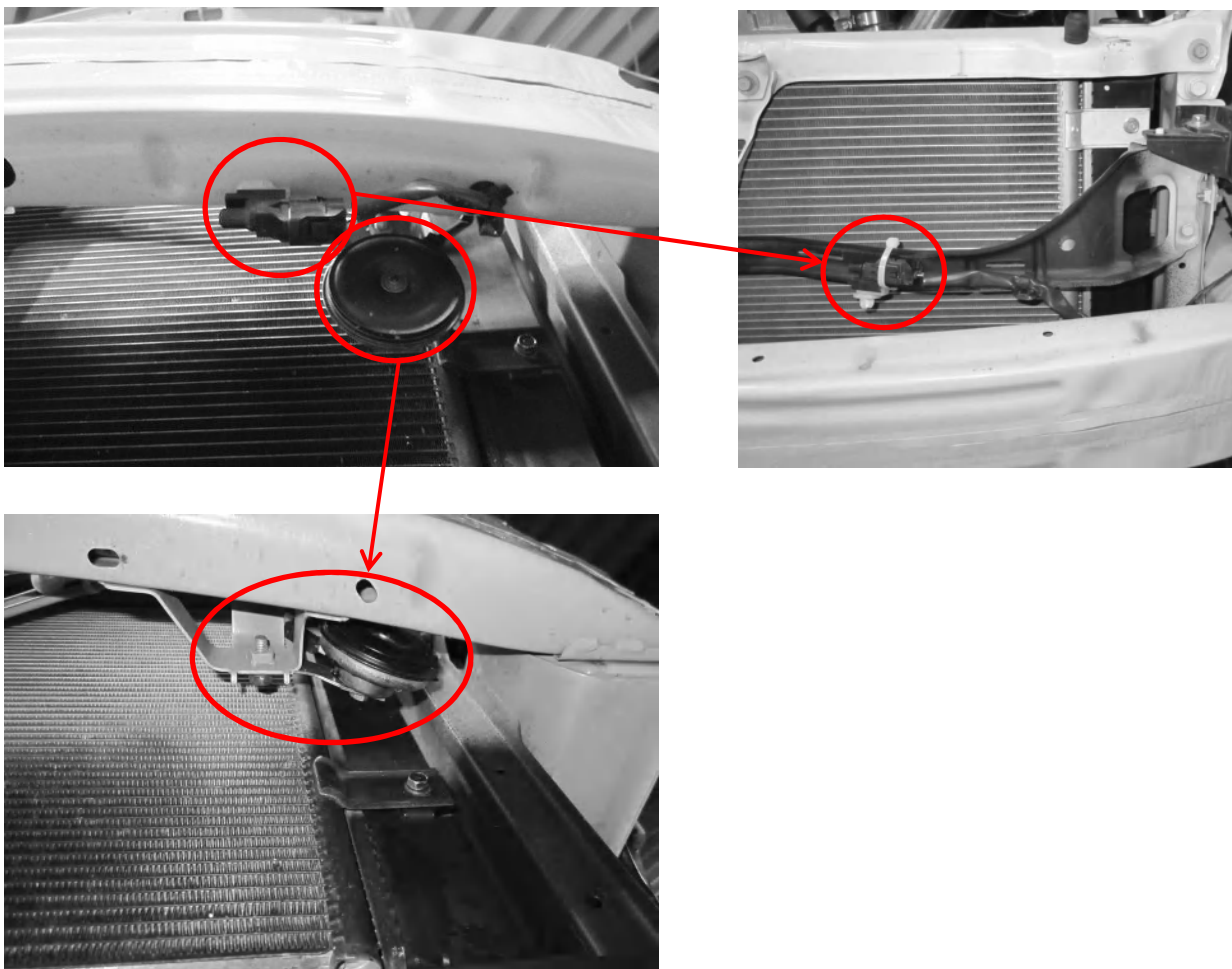
3. 運転席側フレーム下についているバルンサーを取り外します。下図参照



4. I/C コアが干渉する為、センターサポートフレームの付け根部分の引っ張りを削ります。



5. 吸気温度センサとホーンを移動します。吸気温度センサはハーネスクリップを外し、タイラップ等で付近へ固定してください。I/C コアの裏側にはならないよう、なるべく上の方へ取り付けます。ホーンは、ステーを曲げた後、90° 回転させフレームの裏側に隠れるように固定します。



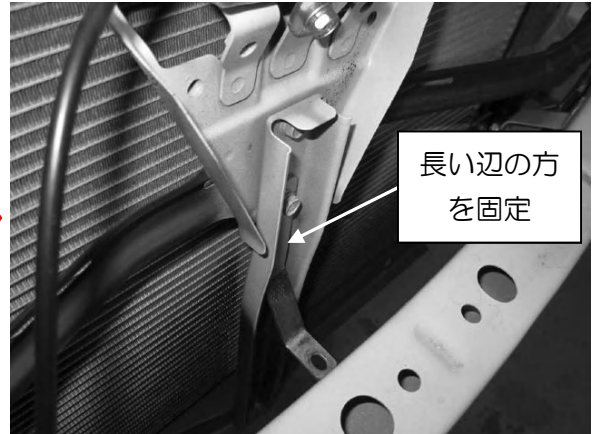
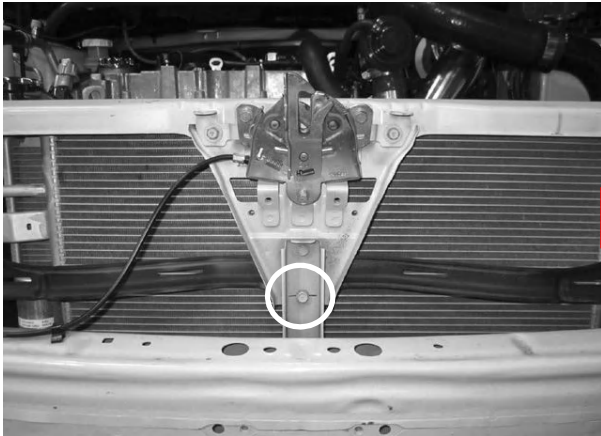
## ■インタークーラーキットの取り付け■

※全ての作業は仮固定で行い、最後に各部品の位置を調整しながら本締めを行って下さい。

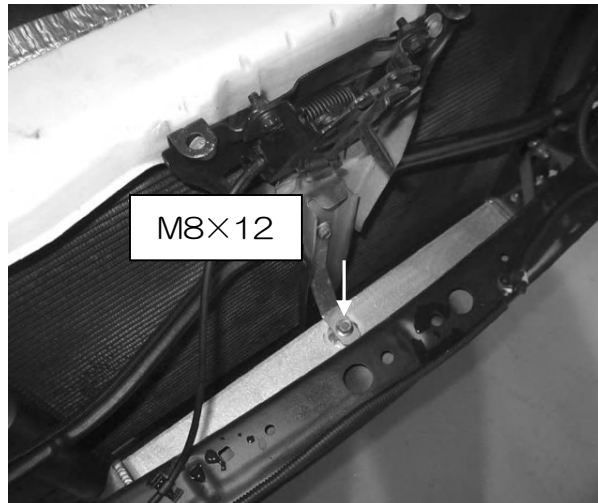
6. インタークーラーコア ASSY を車両へ仮固定します。

ボンネットキャッチカバーを取り外し、図中○印の部分へブラケット「I/C\_TOP」を共締めします。

※ステーの長い辺の方を固定します。



インタークーラーコアを、フランジボルト M8×12 を使用してブラケット「I/C\_TOP」へ取り付けます。

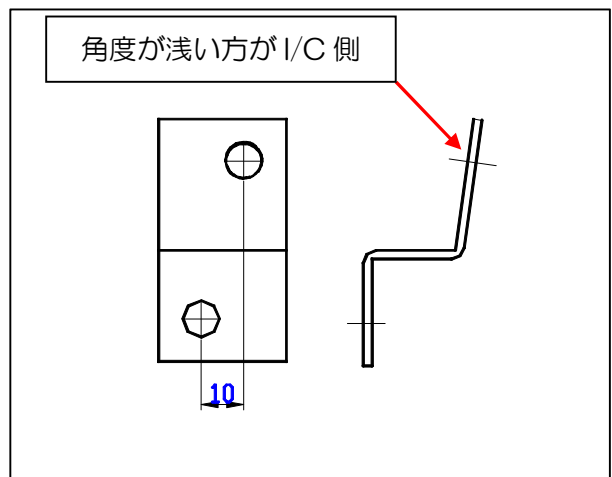
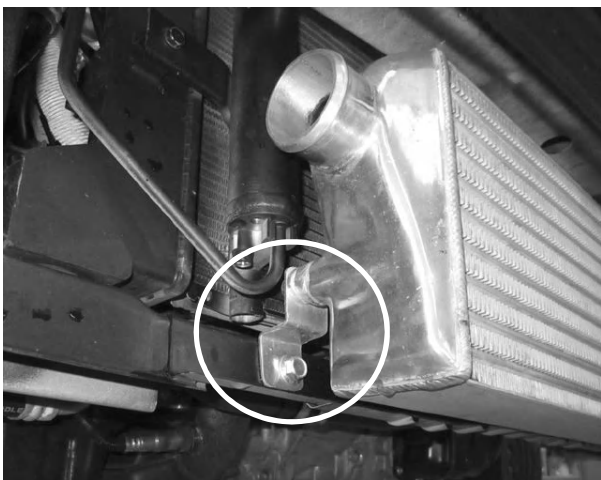


ブラケット「I/C\_RH」を運転席側サイドタンクへ固定します。

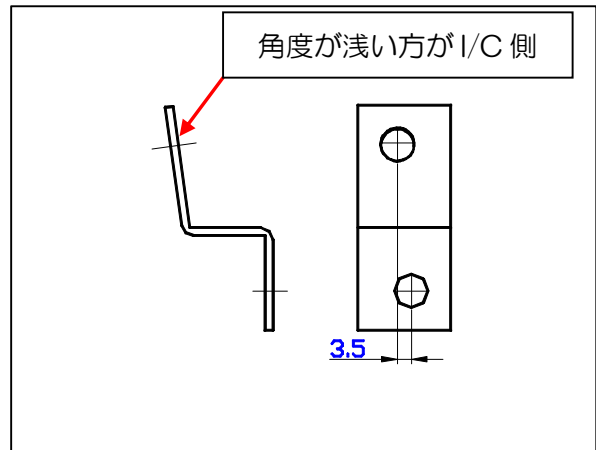
※ステーの曲げ角度が浅い方がインタークーラー側になります。

※固定にはフランジボルト M8×12 を使い、車両側は裏側から付属の M8 ナットで固定します。

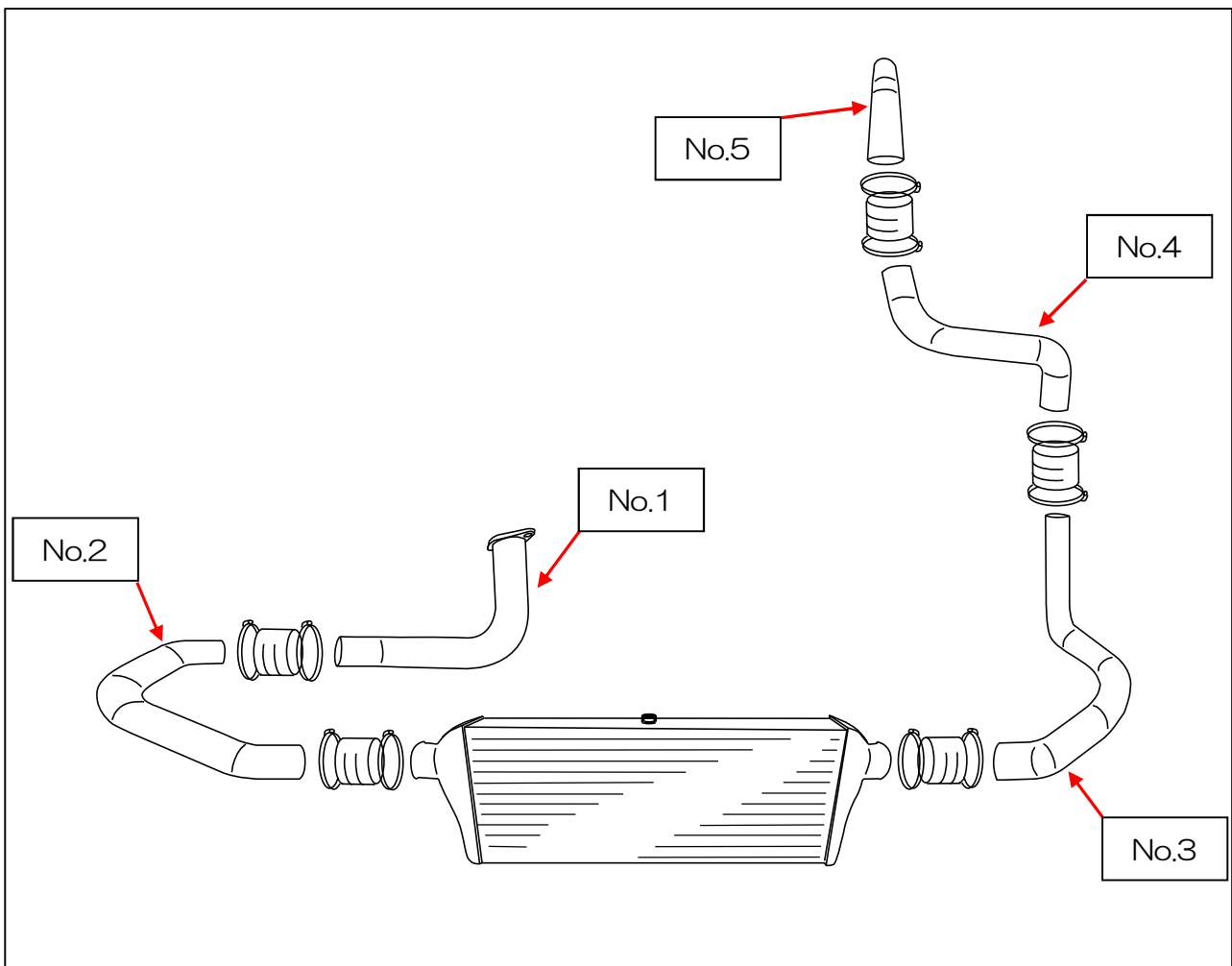
※ブラケット「I/C\_RH」は、ステーを正面から見て、穴の左右の距離が 10mm の方です。



ブラケット\_I/C\_LH を助手席側サイドタンクへ固定します。  
 ※ステアの曲げ角度が浅い方がインタークーラー側になります。  
 ※固定にはフランジボルト M8×12 を使い、車両側は裏側から付属の M8 ナットで固定します。  
 ※ブラケット\_I/C\_LH は、ステアを正面から見て、穴の左右の距離が 3.5mm の方です。



7. 各パイピングを接続していきます。  
 各パイプは以下の構成イラストの様に配管します、各パイプと、インタークーラーコアの接続は付属のシリコンホースとホースバンドを使用してください。  
 ※ホースへパイプを接続する際に、パーツクリーナーを塗布すると滑りやすくなり、容易に作業ができます。

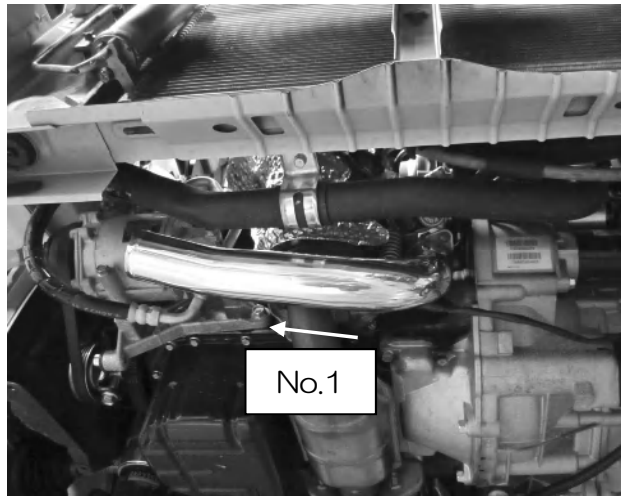




●パイプ No.1

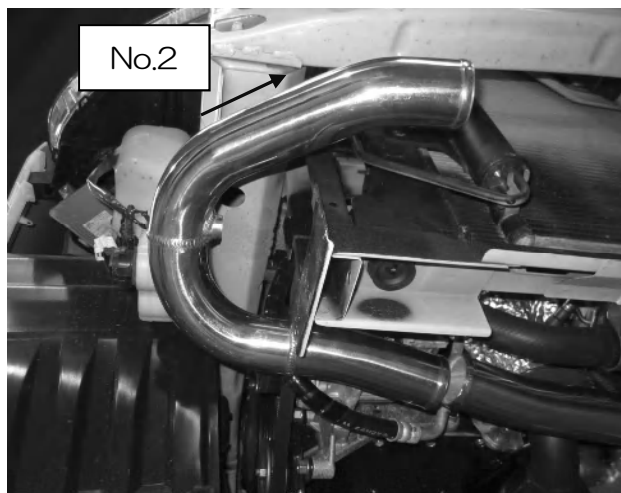
※純正のボルトを使用して固定します。

※ターボチャージャーとNo.1パイプのフランジの間には、純正のガスケットを使用します。純正品が劣化している場合等は、新品への交換を推奨します。また、液体ガスケットの塗布をすることで、よりシール性が高まります。

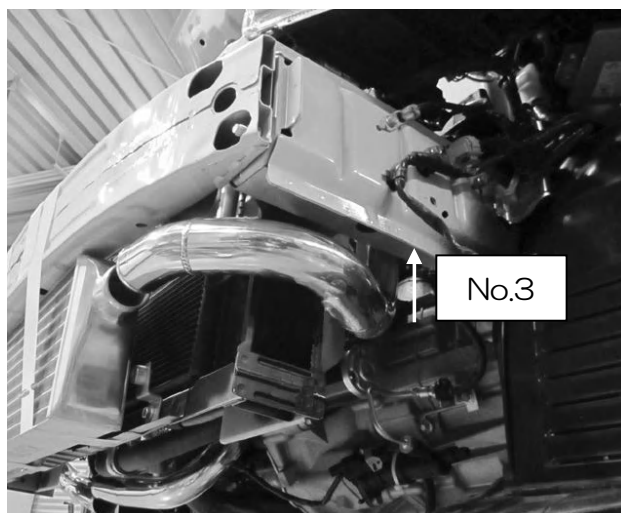


●パイプ No.2

※溶接されているボスは使用しません。

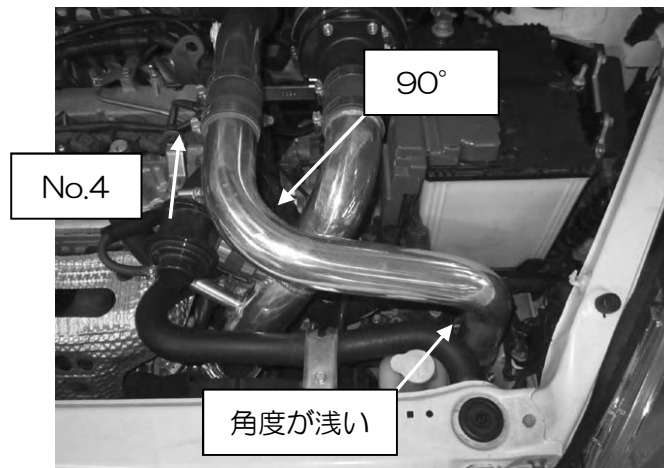


●パイプ No.3



●パイプNo.4

※曲げ角度が90°の方がスロットル側、曲げ角度が浅い方がインタークーラーコア側に向きます。



●パイプNo.5



※最後に各部の位置を調整しながら、各部に干渉等が無いよう全てのボルト、バンド類を本締めします。

## ■バンパーの加工■

8. フロントバンパーフェイスがインタークーラーコア、パイプに干渉しない様、干渉する部分をカット加工します。

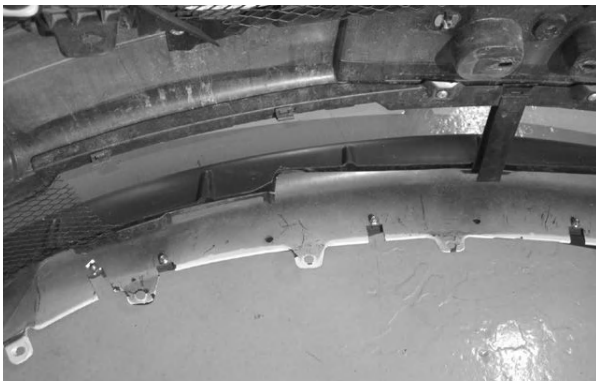
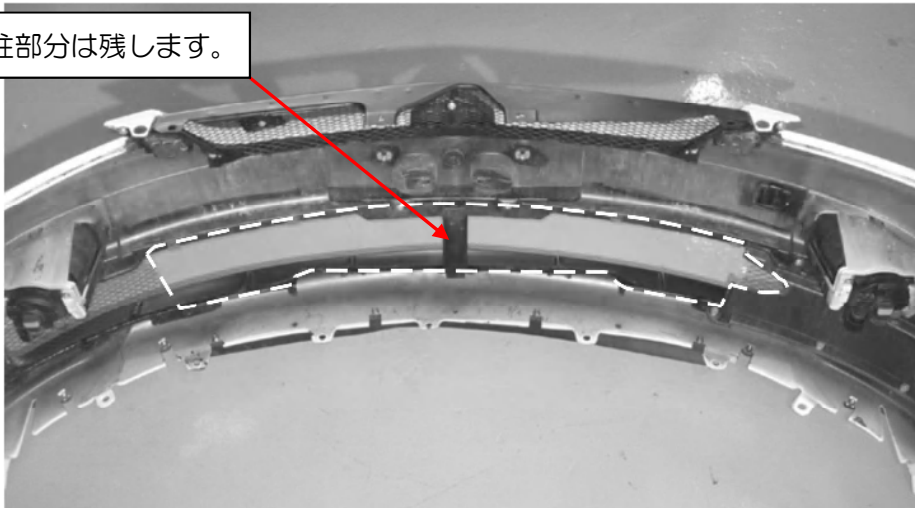
以下に純正バンパーの加工例を掲載します。こちらを参考として、カット形状は実際の車両に合わせて徐々にカットしていくようにしてください。

※フロントバンパーネットは両サイドを残して、中心部分は切り抜いてしまいます。

※フロントバンパーネットが留めてある金属のフレームもカットする必要がありますが、中心の柱部分は残すようにカット加工し、バンパー開口部の上下が繋がる様にしてください。フレームはバンパーへ戻します。

※加工時は、保護メガネ・マスク・軍手などを着用して、安全に作業してください。

中心の柱部分は残します。



## ■エンジンの始動にあたって■

- 必ず換気のよい場所で行ってください。
- コーナリングランプが点灯するか確認してください。
- 各部品はしっかりと固定されているか、エア漏れはないか確認してください。
- インタークーラーの配管を間違えていないか確認してください。また、配管が確実に接続されているか、確認してください。
- 配線・配管の取り回しは、周囲の部品との干渉に注意してください。可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり、配線ショートを起こしたりすると、最悪の場合はエンジンが破損する恐れがあります。

以上でK I Tの取り付けは終了です。

■テスト走行を行い、各部に不具合がないかどうか、確認してください。もし、不具合があるようでしたら、もう一度本取扱説明書をよく読み、各部のチェックを行ってください。